

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3143854号
(U3143854)

(45) 発行日 平成20年8月7日(2008.8.7)

(24) 登録日 平成20年7月16日(2008.7.16)

(51) Int.Cl.

A 4 5 C 13/30 (2006.01)

F 1

A 4 5 C 13/30

N

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2008-3482 (U2008-3482)
(22) 出願日 平成20年5月28日(2008.5.28)

(73) 実用新案権者 507200307
五十畑 薫
埼玉県北埼玉郡北川辺町陽光台二丁目7 3
4-8 2
(72) 考案者 五十畑 薫
埼玉県北埼玉郡北川辺町陽光台二丁目7 3
4-8 2
(72) 考案者 五十畑 祐子
栃木県下都賀郡藤岡町大字大前1 3 2 7

(54) 【考案の名称】マジックテープ（登録商標）付きストラップ

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】樹脂性バネ状ストラップ1を凸のマジックテープ5を先端に設けて、ストラップに取り付けた物が取り外せない不便性を解消したストラップを提供する。

【解決手段】樹脂性バネ状ストラップ1の先端に凸のマジックテープ5を設け、取り付けたい物に凹のマジックテープを貼ることにより、マジックテープ凸と凹のマジックテープを接合する。このマジックテープの凸と凹を剥がすことで、ストラップに取り付けた物が容易に外せるという利便性がある。

【選択図】図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

伸縮自在な帯状且つバネ状のストラップに対して、そのストラップの先端部にマジックテープ（登録商標）を設けたことを特徴とするストラップ。

10

20

30

40

50

(1)

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、マジックテープ（登録商標）付きバネ状ストラップに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来のバネ状ストラップは、一度取り付けると容易に外すことができないようになっており、ストラップから外して利用したい時に外せない不便性があった。 10

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

従来のバネ状ストラップの場合、一度取り付けると容易に外すことができないようになっており、ストラップに取り付けた物を単体で利用したい場合には不可能である。従ってバネ状ストラップにマジックテープを設けて、前述の問題点を解決しようとするものである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

本考案は、凸のマジックテープ（5）付樹脂性バネ状ストラップ（1）をリモコンボックス（2）に設けて、リモコン（3）に凹のマジックテープ（4）を貼り、凸と凹のマジックテープを接合することで問題点を解決している。 20

【考案の効果】

【0005】

上述のように、本考案の凸のマジックテープ付樹脂性バネ状ストラップを設けたリモコンボックスのマジックテープとリモコンに貼り付けた凹のマジックテープを接合させることでリモコンとリモコンボックスが一体化され、リモコン使用時にはストラップが伸びることでリモコンの紛失を防ぐことができる。また、マジックテープを使用することでストラップが絡まった場合には、リモコンをこのストラップから外せば簡単に絡んだストラップをほどくことができる。 30

40

50

(2)

【考案を実施するための最良の形態】

【 0 0 0 6 】

凸のマジックテープ (5) を樹脂性バネ状ストラップ (1) に設けて、ストラップに取り付けたい物に凹のマジックテープ (4) を貼るのが望ましい。

【実施例】

【 0 0 0 7 】

以下、添付図面に従って一実施例を説明する。1 は合成樹脂材等よりなるバネ状ストラップであり、その先端には5 の凸のマジックテープを設けている。

10

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 8 】

【図 1】本リモコンボックスに設けたストラップの正面図である。

【符号の説明】

【 0 0 0 9 】

1 樹脂性バネ状ストラップ

5 凸のマジックテープ

【図 1】

